

2005年6月29日

札幌市中央区北9条西15丁目28番地196
 株式会社ソフトフロント
 代表取締役社長 阪口 克彦
 (証券コード番号:2321)

ソフトフロント、SIP 対応ケータイ電話市場の開拓へ ~ NEC エレクトロニクス「MP211」に対応した「次世代携帯電話開発キット」を開発 ~

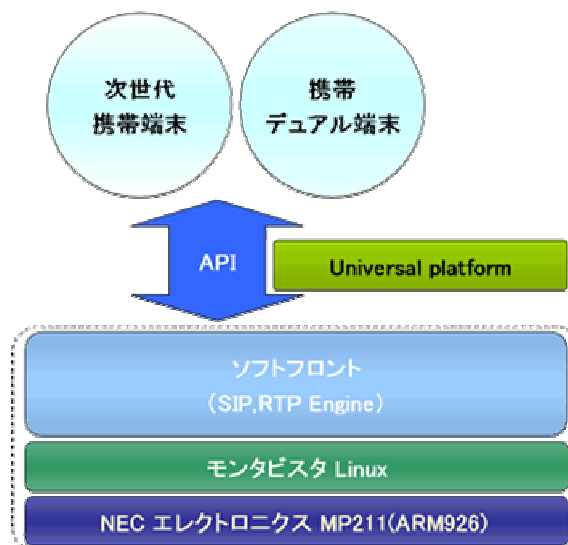
株式会社ソフトフロント(本社 札幌市、代表取締役社長 阪口克彦、以下 ソフトフロント)は、NEC エレクトロニクス株式会社(本社 神奈川県中原区、代表取締役社長 戸坂 馨、以下 NEC エレクトロニクス)と、次世代携帯電話市場の開拓に向けてパートナープログラム加入交渉を行なうことで合意いたしました。ソフトフロントは、パートナープログラム参加にさきがけ、NEC エレクトロニクスの携帯電話機向けのアプリケーションプロセッサ「MP211」にソフトフロントのSIP(*1)/VoIP(*2)ミドルウェアを搭載し、次世代携帯電話や携帯デュアル端末などの効率的な開発を実現する「次世代携帯電話開発キット」を開発いたしました。

NEC エレクトロニクスは、携帯電話の中核部となる国内向け 3G(*3)通信用 LSI(*4)でシェア No.1 の実績を誇り、常に 3G 技術では業界をリードし、3G 標準化にも貢献してきたノウハウと技術力を有しています。「MP211」は、複数の CPU が処理を効率よく分担し、複数のアプリケーションを処理することが可能なマルチコア構造を採用しており、H.264 など最先端の画像圧縮技術を処理しながら、通常の通話処理と Java アプリケーションを同時に実行できる、次世代携帯電話に最適なアプリケーションプロセッサです。

ソフトフロントは、今後の業務提携により、「MP211」に最適化した SIP/VoIP 開発環境を NEC エレクトロニクスに提供し、NEC エレクトロニクスは、LSI のシステム設計・開発と製造を担当することで両者の強みを最大限活かし、グローバルな次世代携帯電話市場に対して最適かつ競争力のある SIP 開発環境の提供を実現できるものと確信しております。

なお、今回開発した次世代携帯向けの SIP/VoIP 開発環境「次世代携帯電話開発キット」は、2005年6月29日~7月1日東京ビッグサイトで開催される「第8回組込みシステム開発技術展(ESEC)」の両社のブースに出展するほか、国内外の各種イベントにおいても積極的に、公開していく予定です。

【次世代携帯電話開発キット構成図】



【ご参考】

(*1) SIP (Session Initiation Protocol)

IP 電話、ビデオ会議などを実現する新しいプロトコル(RFC3261)。Web の技術として有名な HTTP と同様にテキストベースであり、シンプルで拡張性が高いことから、IP 電話の標準的なプロトコルとして利用されている。最近では、その特徴を生かしてデジタル情報家電などへの搭載が注目されている。

(*2) VoIP (Voice over Internet Protocol)

IP ネットワークを利用した音声通話の技術一般を指す。現在、注目されている IP 電話は、この技術を応用したもの

(*3) 3G

第 3 世代の携帯電話方式の総称。「IMT-2000」という規格に準拠した携帯電話システムを指す。NTT ドコモの「FOMA」やボーダフォンの「ボーダフォン 3G」、au の「CDMA 1X WIN」といったデジタル方式携帯電話が第 3 世代にあたり、高速なデータ通信やマルチメディアを利用した各種サービスの提供が可能である。

(*4) LSI

IC(集積回路)のうち、素子の集積度が 1000 個～10 万個程度のもの。

記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記しておりません。

【プロフィール】

■ 株式会社ソフトフロント

1997 年設立のソフトウェア開発企業です。SIP と VoIP を核技術とし、業界から本分野の核技術の提供企業として注目されています。「技術を愛し、技術を提供することによって、社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現すること」を企業理念として、事業を展開しています。

業界標準プロトコルになりつつある SIP に早くから注力しており、様々な技術とノウハウを蓄積してまいりました。現在は、これまで培ってきた SIP と VoIP に関する技術やノウハウを多数のメーカーやシステム・インテグレーターに提供し、それらのパートナー企業を通じて当社の技術の普及を図る「SIP パートナープログラム」事業に注力しています。また、最近では、各種 OS、CPU メーカーとの連携により、SIP 開発環境の拡充を図っております。

URL:<http://www.softfront.co.jp>

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

管理本部 広報担当 内海 雅枝

電話(本社広報直通):011-623-1035 FAX:011-623-1002

E-mail: press@softfront.co.jp

【製品に関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

SPP 事業本部

電話:03-5366-2030 FAX:03-5366-2031

URL: <http://www.softfront.co.jp/spp/enquiry.html>